

参加無料

申込不要

第20回

発達支援教育実践セミナー

<共生社会の実現に向けた教育実践とトータル支援報告会＆シンポジウム>

共に育ち学ぶ教育のこれから

～多様な参加を支える「トータル支援」の取り組み 20年の実践知～

日 に ち

令和8年 2月14日（土）

時 間

13時～17時（12時30分 受付開始）

場 所

琉球大学 文系講義棟2階 215教室

※当日は北口（宜野湾口）をご利用下さい。

対 象

教育、保育、福祉に携わる皆様、保護者の皆様、
関心のある皆様 どなたでもご参加いただけます。

主 催

琉球大学(発達支援教育実践室：

教職センター・教育学部)

共 催

沖縄県教育委員会

問い合わせ先

琉球大学

(発達支援教育実践室：教職センター・教育学部)

電話/FAX：098(895)8428

メール：sien@w3.u-ryukyu.ac.jp

裏面に →
プログラム

《プログラム》



センター長 挨拶

望月 道浩 (琉球大学教職センター長 教授)

セミナー主旨 共に育ち学ぶ教育のこれから

— 多様な参加を支える「トータル支援」の取り組み 20年の実践知 —

浦崎 武 (琉球大学大学院教育学研究科 教授)

I 実践報告1

多様な参加を支える授業づくりと「トータル支援」の歩み

— 子どもの「向かう力」と「整える感覚」 —

又吉 美和子 (トータル支援事業チーム
武田 喜乃恵 (トータル支援事業チーム
津波古 愛姫 (トータル支援事業チーム
宜志富 裕 (トータル支援事業チーム
鈴木 陽子 (トータル支援事業チーム
浦崎 武 (トータル支援事業チーム

沖縄県立泊高等学校 元小学校教諭)
元旭川医科大学病院 臨床心理士)
トータル支援教室スタッフ)
うるま市立あげな小学校 教諭)
うるま市立平敷屋小学校 教諭)
琉球大学大学院教育学研究科 教授)

コメント

別府 哲 (岐阜大学教育学部 教授)

II 実践報告2

①多様な背景を持つ支援を必要とする子どもたちのケアを意識した授業実践

— 特別支援学級における国語科の授業を通して —

又吉 美和子 (沖縄県立泊高等学校 元小学校教諭)

②通常の学級における交流及び共同学習の実践と特別支援学級の合同自立活動の実践

平良 明美 (宮古島市立東小学校 教諭)
下地 憲誠 (宮古島市立東小学校 教諭)

III 基調講演

「自閉スペクトラム症の心の理解と支援」

別府 哲 (岐阜大学教育学部 教授)

IV シンポジウム

多様な参加がひらく、これからの支援と教育

— 「向かう力」を支える教育は これからどうひらかれるか —

コーディネーター 浦崎 武 (琉球大学大学院教育学研究科 教授)

【シンポジスト】

又吉 美和子 (沖縄県立泊高等学校 元小学校教諭)
鈴木 陽子 (うるま市立平敷屋小学校 教諭)
平良 明美 (宮古島市立東小学校 教諭)
下地 憲誠 (宮古島市立東小学校 教諭)

【指定討論者】

別府 哲 (岐阜大学教育学部 教授)